

Supermarket

スーパーマーケット
事業



高質スーパーとして、地域に密着

首都圏、関西、中部地区に 83店舗を展開

スーパーマーケット事業のピーコックストアは、大丸松坂屋百貨店が基幹店舗を有する首都圏に48店、関西地区に27店および中部地区に8店の計83店舗（2012年5月現在）を展開。首都圏では都心エリアと横浜・湘南地区、関西地区では阪神間、中部地区では市営地下鉄東山線沿線をそれぞれドミナント地区に設定し、取り組み強化をはかっています。グループの主力である百貨店ブランドイメージを背景とした「高質」な品揃えとともに、個店ごとの特性にあったリーズナブルなオリジナル商品も積極的に展開し、地域のお客様に支持される安全・安心な食品スーパーマーケットを目指しています。

新情報システムを導入

ピーコックストアは、2012年3月に新情報システムを導入し、首都圏・関西地区・中部地区それぞれで稼働していた3系統のシステムを統合しました。これにより全社共通の一元化されたデータに基づいてセントラルバイイング（全社一括仕入）を行い、バイイングパワーを

強化するとともに、個店レベルまで落とし込んだ商品計画を立案・実施し、地域のマーケットに即した品揃えの実現につなげています。また分析システム「DWH」（データウェアハウス）の導入により、現場で発生した生データからABC分析や商品ロス率の分析など多様な分析がリアルタイムで可能となり、店舗レベルでの品切れ防止や商品の改廃をスピーディーに実施していきます。同時に新システムの導入により、本社・後方部門の業務削減や、物流合理化によるローコスト化も推進しています。

PB、ストアブランドの取り組み

ピーコックストアは、デイリー性の高い保存食品や日配品を中心に、お客様から信頼を頂けるブランドとしてPB「ピーコックチョイス」を展開し、値ごろ感のある生活必需品の安定供給に努めています。また「佐幌高原牛」（首都圏）、「宗谷岬牛」（関西地区）や、「香りとうまみのウイナー」など、お取引先や産地と共同開発した地域限定型の独自商品（ストアブランド）の展開も強化。生鮮品では当社が指定する生産者と生産契約を行い、保存食品

では当社独自の仕様により付加価値をつけて販売するなど、競合他社との差別化をはかるとともに、収益力の向上につなげています。

また中食需要が伸びている中、惣菜の品揃えを見直し、単身世帯や若年層の多い地域では洋風スイーツやおつまみなど従来の惣菜売場の枠を超えた分野で商品を開発・強化するとともに、シニア層の多い売場では一切れ、二切れの魚や小さなサラダといった個食対応を進めています。

地域により密着したスーパーマーケットに

ピーコックストアは、今回導入した新情報システムをフルに活用し、各店の立地に応じて、こだわり商品・ボリューム商品・価格訴求商品のバランスを変え、地域に密着した品ぞろえを実現していきます。また地域特性と競合環境を踏まえて、価格志向の強い地域であれば低価格スーパー（「Pマート」）への業態転換、シニア層のお客様が多い郊外の多層階店舗では医療施設を中心としたフロアへの転換など、さまざまな方策により、地域ごとのマーケット変化に適合した店舗づくりを目指していきます。

店舗所在地一覧（2012年5月現在）

首都圏 （48店舗）

大丸ピーコック

高輪魚籃坂店
目白店
自由が丘店
阿佐谷店
下北澤店
恵比寿店
国立さくら通り店
横浜橋店
久我山店
高田馬場店
麻布十番店
井荻店
経堂店
新浦安店
都立家政店
桜新町店

東小金井店
文京グリーンコート店
三田伊皿子店
玉川上水店
石川台店
花小金井店
国立弁天通り店
藤沢トリアージュ白旗店
三軒茶屋の杜店
トルナーレ日本橋浜町店
代官山ピーコック
芝浦アイランド店
神田熨恋坂店

松坂屋ストア
竹ノ塚店
恵比寿南店
高島平店
豊四季店
大島店

本郷台店 磯子店

エクセ ピーコック
グランデュオ蒲田店

ピーコックストア
白楽六角橋店
グランパーク田町店
上池袋店
洋光台店
ニッケコルトンプラザ店
@中野マルイ
青山店
袖が浦店
藤沢オーノ店
高野台店
上池台店

関西地区 （27店舗）

大丸ピーコック
千里大丸プラザ
津雲台店
北千里店
明舞店
松が丘店
狩野台店
塚原店
千里南町プラザ店
甲子園店
甲東園店
Pマート山田店
武庫之荘店
千里山店
箕面桜ヶ丘店
甲南店
芦屋川西店

宝塚中山店
箕面外院店
西梅田店
新神戸店
新千里西町店
堂島クロスウォーク店

ピーコックストア
香里ヶ丘店
泉北晴美台店
高倉台店
芦屋南宮店
奈良北生駒店

中部地区 （8店舗）

松坂屋ストア
本山店
月見ヶ丘店
藤ヶ丘店
菱野店
本郷店
平針店
三好店
千代田店



ピーコックストア青山店